

スナック、縁側のある和室、ちゃぶ台、掘りごたつ式デスクのあるオフィス 昭和レトロ感を演出 人の温もり感じて交流促す 「顔の見えるライフスタイル」を具現化した新オフィス

エネルギー・イノベーション・ベンチャー みんな電力株式会社（本社：東京都世田谷区、代表取締役：大石英司）は、事業コンセプトである「顔の見えるライフスタイル」の具現化として昭和のレトロ感を演出する設備などを作り、人のぬくもりを感じるコミュニケーションや働き方改革を促進できる環境を整え活用しています。

■ 「顔の見えるライフスタイル」を具現化 スナックなど昭和レトロ感満載の空間も



エレベーターホールの会社ロゴ（ネオン）
壁面にはコンセントがびっしり



窓際のデスクは掘りごたつ式
座椅子に座ってリラックスでき作業が進む



バイオマス発電の際に燃やす
間伐材を活用した電球オブジェ

当社の主力事業である「顔の見える電力™」は、顧客が電力生産者の顔やストーリーを理解したうえで電気の供給元を選択できる、世界でも例のない電力小売りサービスを展開しています。2019年3月に業務拡大にともなう増員のため現在のオフィスに移転した際、事業コンセプトである「顔の見えるライフスタイル」を具現化したオフィスデザインを設けました。

当社を訪れると、エレベーターを降りた正面にある会社ロゴのネオンが目飛び込みます。その壁面をよく見ると、そこにはたくさんのコンセント差込口があり、なんとこれらのコンセントはすべて通電しています。この設備は、「コンセントの先を考えたことがありますか？」という当社が最も伝えたいメッセージをそのまま体現しています。

その後エントランスに入ると、巨大な電球オブジェがお出迎えします。電球の材料はバイオマス発電の際に燃やす間伐材を活用しています。その隣には自家発電できる自転車があり、自転車を漕ぐと後ろの電球が光る仕組みです。さらに、それらの奥にはガラス張りの執務室が訪れた訪問客から丸見えで、まさに、「顔の見える」オフィスです。オフィス内はフリーアドレスのため、社長と隣り合って仕事することも日常です。一番景色がよく見える壁際のデスクは掘りごたつ式になっており、座椅子に座ってリラックスしながら仕事をする、視点が変わって良いアイデアが浮かんだり、ストレス軽減し作業がはかどるので残業も減り、働き方改革につながっています。

■人とのふれあいを重視 温かな昭和を再現しコミュニケーションを深める環境に



ミラーボールが光る！
憩いの場 スナック「再生」



壁を取り払った縁側のある和室
中央にはちゃぶ台を設置

当社の設備で最も特長的なのは、昭和レトロを醸し出している空間です。昭和を彷彿とさせるスナック「再生」は、ミラーボールが回り、発電所のある地域などのお酒を飲みながら電気のことを語り合ったり、訪問客同士が交流したりできる場になっています。スナック「再生」の名前の由来は、「再生可能エネルギー」から。代表大石がスナックの“ママ”としてカウンターに入ることも度々あり、顧客との打ち合わせに使用すると、見知らぬ顧客同士が打ち解けやすい空間を演出しコミュニケーション促進の一翼を担っています。

そして、壁を取り払った縁側のある和室にはちゃぶ台も用意し、顔の見える打ち合わせスペースとして活用しています。さらに社内にある自動販売機は、飲料の原材料の産地が表記されているため、生産地を知ったうえでドリンクを選択することができ、紙コップは間伐材を使用しています。

すべてが便利でスマートになりつつある現代では、商品やサービスは完璧さを求めて進化し続けています。当社は、そのような環境に「味気なさ」と、無機質の「冷たさ」を感じている方が多くいると考えています。また、SNSなどインターネット上で顔を見ない会話が当たり前になっているため、「人と直接関わりたい」という気持ちを持った若者も増加していると考えられます。

そこで、当社は社内に昭和レトロ感を醸成する設備を作ることで、社員同士、あるいは顧客とのコミュニケーションを深めやすい環境をつくり、昭和のぬくもりを再現するオフィスにしています。その象徴であるスナック「再生」では、来社したお客様も最初はもの珍しそうにしていますが、実際にそこで会話をすると不思議な盛り上がりを感じてもらえて大変好評を得ています。

スナック「再生」は、昭和を生きた世代にとっては「懐かしさと思い出」が共有できる一方で、それを知らないデジタルネイティブ世代の若者にとっては新鮮にも感じられる「温かさと出会い」を得られる場所になっているからではないかと考えています。

■「顔の見えるライフスタイル」の発信基地となる新オフィスで 11月から始動

当社は、電気だけでなく、生活すべての「顔の見えるライフスタイル」の実現に向けて、顧客の協力のもと新事業の開発のプロジェクトを進めています。2019年11月2日（土）には、顧客を当オフィスに招き、プロジェクト初のミーティングを開催しました。

当社は今後も、当社の事業を社内外に理解してもらうべく、当オフィスを発信基地として活用していきます。



【オフィス設備の概要】

- ① 会社ロゴのネオンサインと壁面一面のコンセント差込口（コンセントは使用可能）
- ② 電球オブジェ（バイオマスの原材料を活用して制作）
- ③ 自家発電自転車
- ④ 生産者がわかる自動販売機
- ⑤ ちゃぶ台と縁側のある和室
- ⑥ スナック「再生」
- ⑦ 掘りごたつ式デスク

【会社概要】

社名 : みんな電力株式会社
代表 : 代表取締役 大石 英司
本社所在地 : 東京都世田谷区三軒茶屋 2-11-22 サンタワーズセンタービル 8F
TEL : 03-6805-2228
設立日 : 2011 年 5 月
URL : <https://minden.co.jp/>
資本金 : 1 億千円(資本準備金 : 8 億 3,420 万円)
事業内容 : みんな電力事業 (法人・個人向け電力小売サービス)
みんなヴィレッジ事業 (再生可能エネルギーの発電所構築・販売、まちづくり事業)
プラットフォーム事業 (IT システムの販売)
みんなラボ (研究開発)

本件に関するお問い合わせ先
みんな電力 広報事務局 担当 : 福土 (ふくと)
電話 : 03-5411-0066 FAX : 03-3401-7788
携帯 : 080-6538-6292
E-mail : pr@netamoto.co.jp